

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

【基本目標】

人間尊重の教育を基盤に、豊かな心と健やかな体をもち、自らの課題を意欲をもって創造的に解決することができる、たくましく生きる力をもった児童の育成を目指す。

【具体目標】（目指す児童像）

健康で根気強い子 進んで学び よく考える子 心豊かで 思いやりのある子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

全職員が相互信頼と協働性を基盤に学校経営に参画し、目指す児童像に対応した教育活動の実践に努める。この教育活動を展開するために、次の「目指す学校像」を設定し学校経営を推進する。

【目指す学校像】

- (1) 明るく 活力のある学校
 - ・分かる授業が展開され、一人一人が生き生きと活動している学校
- (2) 温かく 居がいのある学校
 - ・認め合い、励まし合って、一人一人のよさや個性が発揮できる学校
- (3) 地域に開かれ 信頼される学校
 - ・保護者や地域との連携を強化し、協力し合って児童を育成する学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 人間尊重の精神を基盤とし、児童一人一人のもつ「持ち味」や「よさ」等を見取るとともに、児童とのふれ合いを通して、さらに認め伸ばし、豊かな心の育成に努める。
- (2) 一人一人の児童を多くの教職員で様々な視点から見取りながら、義務教育9年間を見通し、基礎・基本の定着を図るとともに、「分かる、楽しい授業」を展開し、新学習指導要領を踏まえた確かな学力の向上に努める。
- (3) 自他の生命を尊重し、児童・教職員一人一人が生き生きと前向きに安心して生活できる健康で安全な学校づくりの推進に努める。
- (4) 教育公務員としての自覚をもち、サービスを厳守するとともに、進んで自己研鑽に励み、自らの資質を高め、さらに、協働の精神を大切に、教職員・児童へ還元できるように努める。
- (5) 家庭・地域社会と連携を密にし、信頼と協力を基盤とする「開かれた学校づくり」に努める。
- (6) 小中一貫教育の推進を図るとともに、「石井小学校地域協議会」と連携し、児童の学習支援や安全確保、健全育成等、地域の教育力を生かした学校づくりに努める。

【陽東地域学校園教育ビジョン】

地域の教育力を生かし、地域とのかかわりを通して、心豊かでたくましく生きる子どもの育成

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- 【学 校 運 営】 「地域協議会」との連携のもと、地域の教育力を活用した学校づくりの推進
(1) 豊かな心の育成 (2) 確かな学力の定着 (3) 体力と気力の増進 (4) 自主的・自立的な態度の育成
- 【学 習 指 導】 「豊かなかかわりの中で、生き生きと活動する児童の育成」
～地域の教育資源を生かした社会科の授業づくり～
○(1) 基礎・基本の確実な定着 (2) 学習指導の工夫改善 (3) 読書活動の充実
(4) 家庭・地域との連携・協力
- 【児 童 生 徒 指 導】 「発達段階と個人差を踏まえた基本的生活習慣の確立を目指す児童の育成」
○(1) 基本的生活習慣の育成 (2) 規範意識や人権感覚・意識の醸成 (3) 望ましい集団づくり
(4) 個に応じた指導の充実 (5) 家庭・地域・関係機関などとの連携
- 【健康(保健安全・食育)体力】 「自己の健康・体力についての理解を深め、その向上に努める児童の育成」
～保健指導や学級活動との関連をふまえた教科体育の工夫～
○(1) 望ましい食生活の育成 (2) 健康・体力の向上 (3) 家庭・地域との連携

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、今の学校が好きです」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 日常の指導において、児童が自主性や主体性を発揮できる場の確保に努める。 (1) 体験活動を重視した学習活動の積極的な展開 (2) 学級活動の充実による、明るく、活力のある学級風土づくり 2 児童会活動や学校行事の工夫・改善を通して、児童の主体的な活動の場を確保し、楽しく、活気あふれる学校づくりを目指す。 (1) 縦割り班活動の工夫 (2) 学校行事や児童会運営への児童の参加促進		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、大切なことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 一人一人の教育的ニーズを十分に把握して児童理解に努めるとともに、組織を活用した指導の充実を図る。 (1) 教育相談や保護者との懇談を通じた児童理解の推進 2 日々の学習指導の工夫・改善に努め、「分かる、できる」楽しい授業づくりを目指す。 (1) 授業のねらいの明確化 (2) 指導形態や指導方法の工夫 (3) 個に応じた支援の工夫		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 基本的な生活習慣育成の徹底を図るとともに、規範意識を高める指導の充実を図る。 (1) 「石井っ子の生活」に基づいた指導の充実 ① 家庭との連携の工夫 ② 自己評価の活用法の工夫 (2) 生活当番組織を活用した日常生活指導の充実 ① 生活目標の周知方法の工夫 ② 朝の会や帰りの会を活用した児童の主体的な活動の推進		【達成状況】 【次年度の方針】

A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 学校課題を中心とした全校体制による授業研究をとおして、「分かる・できる授業」づくりを積極的に推進する。 (1) 単位時間及び単元の指導法の工夫・改善 (2) 「一人一研究」実践による指導法の工夫・改善 2 児童一人一人の学習状況を的確に把握し、個に応じたきめ細やかな指導を充実させる。 (1) 少人数指導や T.T による指導の工夫・改善 (2) 朝の活動を利用した基礎学力の向上	【達成状況】 【次年度の方針】
A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 道徳の時間を要とした道徳教育を充実させ、人権感覚の醸成を図る。 (1) 「いじめ問題」や「生命尊重」を題材とした道徳授業の実践 (2) 児童主体による「いじめゼロ集会」の実践と関連付けた道徳授業の展開 2 全校体制による組織的ないじめ防止策の積極的な推進を図る。 (1) いじめゼロ強調月間の取組の充実 (2) 教育相談並びに児童指導委員会の充実 (3) 年4回のいじめアンケートの実施と結果の効果的な活用	【達成状況】 【次年度の方針】
A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 全体アンケート 「私の学校生活や様々な活動は充実している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 日々の教育実践の記録等を累積し、より適切な教育課程の編成を推進する。 (1) 週案による時数管理の徹底 (2) 各行事反省による評価資料の収集と次年度計画への反映 2 学校評価の結果を検証し、児童や保護者、地域住民等の思いや願いを十分生かした教育課程の編成に努める。 (1) マネジメントサイクルを重視した教育活動の展開 (2) 校内評価委員会を活用した組織的な評価の実践	【達成状況】 【次年度の方針】

A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 学校公開を積極的に行い、開かれた学校づくりを推進する。 (1) オープンスクール等による学校公開の推進 (2) 学校行事公開や地域ボランティアとの連携による教育情報の積極的な発信 2 各種便り等を活用し、家庭や地域への、教育情報の積極的な発信を推進する。 (1) 学校便り、学年便り、保健便り、食育便り、図書館便り等の定期的発行 (2) ホームページの定期的な更新による情報発信	【達成状況】 【次年度の方針】
A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 地域の教育力を積極的に活用し、地域に根差した特色ある教育活動を推進する。 (1) 学校支援ボランティアの積極的な活用 (2) 地域連携教員を中心とした組織的な取組の推進 (3) 地域学習素材や人材の活用 2 石井小学校地域協議会と連携した、地域の学校づくりを積極的に推進する。 (1) 地域コーディネーターとの連携の強化 (2) 学校経営方針と関連付けた特色ある事業の展開 (3) 地域と保護者、保護者相互のつながりを深める取組の実践	【達成状況】 【次年度の方針】
A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 学校配当予算の効果的な執行及びPTAとの連携により、教材備品等の整備を推進する。 2 安全点検結果に基づく、修繕補修を迅速に行い、安全な学習環境づくりを推進する。 (1) 日常点検、定期点検等の安全点検の充実 3 児童と教師の協働による日常の清掃活動等を充実させ、環境の美化に努める。 (1) 縦割り班清掃活動の充実 ① 清掃強化週間の設定 ② 清掃ボランティアの活用	【達成状況】 【次年度の方針】

	B 1 教職員は、児童・保護者との信頼関係を築き、居がいのある学校づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、保護者と連絡を密にしながら指導に当たっている。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 家庭と連携して、一人一人のよさを認め励ます教育を充実させることで、自尊感情を育むことに努める。 (1) 褒めて伸ばす教育の推進 (2) 児童相互に認め合う場の設定 2 校内組織を活用して、問題行動の早期発見、早期対応に努めるとともに、家庭や関係機関と連携した指導の充実を図る。 (1) 学年会での積極的な情報交換による情報の共有化 (2) 児童指導委員会、いじめ防止対策委員会を活用した組織的な取組の推進	【達成状況】 【次年度の方針】
教育活動の状況	A 10 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 家庭や地域と連携し、あいさつ運動の積極的な推進を図る。 (1) 年 5 回の地域学校園あいさつ運動の取組の充実 (2) 校内あいさつ運動（4，9，1 月）の積極的な展開 (3) 教師の率先垂範による日常的なあいさつ指導の推進	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 11 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 言語活動を充実させ、児童一人一人のコミュニケーション能力を高める指導を積極的に行う。 (1) 国語科学習指導の充実 (2) 会話科「ことばの時間」の指導法の工夫 2 思いやりの心を育み、相手の気持ちを考えた気持ちのよい言葉遣いができる児童の育成を推進する。 (1) 日常の道徳教育の充実 (2) 人権教育の充実と人権週間の取組の工夫・改善 (3) 教師の率先垂範による好ましい言語環境の構築	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 12 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 日常的な体育活動の充実を図り、進んで健康や体力の保持・増進に努める児童の育成を図る。 (1) 元気っ子体力チェックによる実態の把握と改善策の検討 (2) 補強運動の計画的実践 (3) 各種検定表を活用した主体的な体力づくりの推進 2 競い合い、高め合う体育的活動を積極的に取り入れ、自主的に体力づくりに励む児童を育成する。 (1) うつのみや元気っ子チャレンジへの積極的な参加	【達成状況】 【次年度の方針】

A13 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、好き嫌がなく給食を食べている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 望ましい食習慣の形成を図るために、意図的・計画的な食育の推進を図る。 (1) 給食時の校内放送を活用した食育活動の展開 (2) 学校栄養士と連携した「食に関する指導」の充実 (3) 学校保健給食委員会を活用した組織的な取組の推進 2 食に関する情報発信を積極的に行い、家庭と連携した食に関する取組を充実させる。 (1) 食育便りを通じた食育に関する啓発の推進 (2) 年3回のお弁当の日の取組の充実	【達成状況】 【次年度の方針】
A14 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 基本的な学習態度の徹底を図り、学び方を身に付けた児童を育成する。 (1) 授業開始時刻前着席の徹底 (2) 学習用具等の業間時準備の徹底 (3) 「学びのノート」の有効活用 (4) 朝の学習の工夫 2 「石井っ子の学習」に基づいた家庭と連携した指導を推進し、主体的な学習態度や学習習慣の育成を図る。 (1) 宿題の適切な分量・内容等の検討 (2) 個の実態に応じた自主学習の習慣形成 (3) 認め励ます指導を中心とした個に応じた支援の充実	【達成状況】 【次年度の方針】
A15 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 「発表の仕方」「話の聞き方」に関する基本的な学習態度や学習技能の習得を図るために、指導法を工夫・改善する。 (1) 発達段階に応じた「発表の仕方」「話の聞き方」のポイントの掲示 (2) 小集団学習の効果的な活用 2 視覚情報を制限し、落ち着いて学習できる教室環境づくりを進める。 (1) 前面黒板周りの整理 (2) 計画的な作品掲示	【達成状況】 【次年度の方針】

	B2 児童は、進んで本を読もうとする意欲をもち、読書が習慣化されている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、進んで本を読み、読書に親しんでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 読書指導を充実させ、自ら進んで様々な本に接しようとする児童を育成する。 (1) 朝の読書活動の充実による読書習慣の形成 (2) 学校図書館等、読書環境の整備による意欲付け (3) 読み聞かせボランティアとの連携による意欲付け (4) 図書館だよりやBOOK新聞をとおした啓発活動の推進	【達成状況】 【次年度の方針】
本校の特色・課題等	B3 学校は、地域協議会と連携し、親子のふれ合いや地域の方々との交流に努めている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、地域協議会と連携し、親子のふれあいや地域の方々との交流に努めている。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 保護者や地域団体・地域人材の積極的な活用を通して、家庭・地域と共に歩む魅力ある学校づくりを推進する。 (1) 生活科や総合的な学習の時間における体験活動を中心とした交流活動の推進 (2) ボランティア調整会議による学校支援ボランティアの計画的な活用 (3) PTA、地域各団体共催による「秋祭り」による交流の推進	

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

6 学校関係者評価

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。